（様式第2号）

地域振興推進費事業計画・自己評価書　（実績）

2020年11月26日

木曽地域振興局

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	A
横断的な課題					
地域重点政策	御嶽山の安全対策の推進と土砂災害の防止等（地域の強靱化）				

実施機関	木曽地域振興局	担当課	所属	総務管理・環境課　県民生活係
事業名	木曽地域職員防災研修会		電話	8-238-2361
			E-mail	kisochi-kenmin@pref.nagano.lg

事業の概要等		
	目的（目指す姿）	行政職員が、災害について理解を深め、防災意識の向上を図るため研修会を行う。
	現状と課題	新型コロナウイルス感染症が流行し、「3密」を避けることが求められている。他方で、災害は時を問わずに発生し、従来型の避難所運営は3密そのものであり、感染症対策の観点からも避難所運営を改める必要がある。 専門家の講演会を開催することにより、感染症対策を含めて避難所運営の手法を学ぶ。
	内容（変更後の内容）	【講演会①】 ・演題：「安全な避難を実現するために（仮題）」 ・講師：秦　康範　氏（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター准教授） 【講演会②】 ・演題：「COVID-19 流行下における防災・災害対策を考える（仮題）」 ・講師：小山　真紀　氏（岐阜大学流域圏科学研究センター准教授） 【意見交換会】 　講師と行政関係者（町村職員）でコロナ対応等についての質疑応答等。
	事業期間	令和2年6月1日　～　令和2年12月31日

事業費等　（単位：円）

事業を構成する細事業名等	実施内容	計画（実績）額	備考
木曽地域職員防災研修会	研修会	118,600	
合計		118,600	

指標及び達成状況

成果指標	目標値	成果	達成状況
管内全町村からの参加	6町村	6町村	○ 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成

事業実績・成果

これまでの研修会は、災害時初動対応や事前の備えたなどを中心に行ってきたが、今回は「避難所の運営」という新しい切り口から実施した。
管内全町村から参加があり、避難所の運営等について専門家からの知識を吸収することができた。
また、県は直接は避難所を管轄しないものの、県職員は町村の応援で避難所運営に関与する可能性もあることから、避難所運営に関する知識の修得は有益であった。

今後の方向性

職員の人事異動のローテーション等も加味しつつ、複数のテーマをローテーションさせながら毎年同様の研修会を実施し、地方部としての防災力の向上・維持に努めていきたい。